



昭和の時代へタイムスリップ

7/30 重文曾根原家で昔のくらし体験

安曇野市豊科郷土博物館の昔の暮らし体験講座が7月30日、国重要文化財曾根原家住宅（穂高有明）で行われました。この講座は、同館夏季特別展「安曇野の昭和の子ども～学ぶ・遊ぶ・暮らす～」にあわせて行われたものです。参加した12人は、囲炉裏を囲みながら、太平洋戦争期の子どもの様子や、麦わらの虫かご作りを学び、昭和の子どもの暮らしを体験しました。夏季特別展は8月28日まで開催されます。



3部門 すべてで準優勝

7/17 松本消防協会ポンプ操法・ラッパ吹奏大会

松本消防協会ポンプ操法・ラッパ吹奏大会が7月17日、松本市公設卸売市場などを会場に行われました。この日市消防団からは、ポンプ車操法と小型ポンプ操法に各2チームと音楽喇叭隊が出場、仕事の傍ら練習に励んできた選手の皆さんが、機械操作や吹奏の正確さなどを競い合いました。

市消防団各出場チームは、惜しくも優勝は逃しましたが、すべての部門で入賞し、次のチームが準優勝を果たしました。
ポンプ車操法：第7分団（明科）
小型ポンプ操法：第13分団第3部（堀金）、
ラッパ吹奏：音楽喇叭隊

9 広報 あづみの 2011.8.24

安曇野の夏 真っ盛り

7/30・8/6 あづみ野祭りほか夏祭り各地で開催

恒例の夏祭りが各地域で開催。7月30日、第32回あづみ野祭りは、豊科駅前通りと国道147号で開催され48連3,400人が参加。各連は思い思いの衣装や山車に工夫を凝らしながら安曇野囃子踊りを踊りました。第26回ふるさと夏祭りは、8月6日、三郷文化公園を会場に行われ、さまざまなイベントや打ち上げ花火が行われました。

また、第28回信州安曇野わさび祭りが8月6日・7日の両日、穂高駅前通りと穂高神社で開催され、6日の納涼祭には31連2,100人が参加。7日のYOSAKOI安曇野では過去最多となる44チーム1,500人が参加し各チームがそれぞれの演舞を披露しあいました。

なお、あづみ野祭りとYOSAKOI安曇野の審査結果は下記の通りです。

【あづみ野祭り】

踊りの部 最優秀賞：青龍（一般）、熊倉（地区公民館）

山車の部 あづみ野祭り大賞：(株)アズミ村田製作所

（このほか29団体が各賞受賞）

【YOSAKOI 安曇野】

YOSAKOI 安曇野賞・信州大学YOSAKOI祭りサークル「和っしょい」

わさび祭り賞：無限翔風

（このほか8団体が各賞受賞）



8/7 YOSAKOI 安曇野（写真上） 7/30 あづみ野祭り（写真左下）
8/6 ふるさと夏祭り（写真右下）

歴史の空白に「八稜鏡」の光輝く

7/11 明科遺跡群古殿屋敷で発掘調査

明科総合支所職員駐車場の排水溝設置工事中に10世紀後半（平安時代中期）の墓とみられる遺構が確認され、市教育委員会は7月11日、報道機関へ公開しました。遺構は、木棺墓（長さ2.6メートル、幅1.5メートル）で、土器、陶器類のほか青銅製の鏡「瑞花双鳥文八稜鏡」（直径約11.5センチメートル）が出土しました。八稜鏡の出土は、市では2例目で完全な形での出土は初めてです。当時、鏡は高級品でこの地に有力者がいたと推測されます。これまで明科地域では、飛鳥時代の明科廃寺や、中世の塔原城などの遺跡は確認されていますが、平安時代の様子は、よく分かっていませんでした。今回の発見を糸口に、今後、集落の存在が明らかになれば、“歴史の空白”ともいえる平安時代中ごろの明科の様子が分かるものと期待されます。出土した遺物については保存処理を施し、速報展示などの形で公開する予定です。



次世代を担う音楽家が集う

7/24 あづみの新進音楽家演奏会 2011

教育委員会主催による「あづみの新進音楽家演奏会 2011」が、7月24日、穂高交流学习センター「みらい」で行われました。これは安曇野で活動を希望する才能ある若手音楽家の育成と市民の皆さんに気軽に音楽に親しんでもらうことを目的にしています。また、12月に開催するコンサートでの出演者選考を兼ねていて、選考には当日の観客160人のアンケート評価も参考になります。この日は公募により選ばれた8組が出演。出演者のひとり、マリンバ奏者の西澤昂佑さん（東京都在住、豊科出身）は、「暖かい雰囲気の中で気持ちよく演奏できました。マリンバの魅力を伝えたいです」と演奏を終えての感想を話しました。



未来の指導者 ドイツで学ぶ

7/12 スポーツ少年団日独交流派遣団員訪問

日本とドイツのスポーツ少年団、未来の指導者の育成を目指す日本体育協会の交流事業で、ドイツへ派遣される市内在住の2人が、出発前のあいさつに7月12日、宮澤市長を訪問しました。派遣されるのは、安曇野ジュニアバレーボールクラブに所属し、スポーツ少年団シニアリーダーの資格を持つ遠藤聖羽さん、田中里沙さん（ともに堀金烏川、大町北高2年）で、約3週間ドイツ南部に滞在します。現地では、ホームステイしながら現地スポーツ少年団との交流や文化交流などを行い、指導者としてさらなる向上を目指します。2人は「今回の経験を生かして、将来、後輩の指導をしたいです」と抱負を語りました。

2011.8.24 広報 あづみの 8